

平成30年度実施 事務事業評価・実施計画

No. 43

Plan

事業名	地域医療対策事業				事業類型	ソフト	実施計画	○	区分	継続					
予算科目	一般会計	4款	1項	2目	事業1	133	事業2	253							
担当部署	部	健康福祉部			課	健康増進課									
総合計画体系	めざすまちの姿	2 ふれあいあふれる、はつらつとしたまち			基本計画	2-③地域医療の連携を強化する									
事業の目的	救急医療体制を確立し、市民が安心して生活ができるようにする。														
事業の概要	夜間・休日診療を市内医療機関に依頼するとともに、救急医療体制整備のための財政支援を行う。市民に適正な受診勧奨の普及・啓発。														

Do

事務事業評価

平成 29 年度	事業実績		事業費(千円)	当初予算額	決算額
	財 源 内 訳	国庫支出金		0	0
休日・祝日の当直:開業医(患者数 4,654人)・浜名病院(患者数 464人) 休日・祝日・平日夜間救急:浜名病院(患者数 553人) 市民に適正医療につながるためのキャンペーンを実施。	県支払金	0	20,211	20,193	
	市債	0		0	
	その他	0		0	
	一般財源	20,211	20,193		

Check

成果指標	成果指標名(単位)		H28実績	H29目標	H29実績	H30目標	
	休日・祝日診療(昼間)の患者のうち緊急性と思われない人の割合(%)		23.0	23.0	25.4	23.0	
事業の 評価	判定	判定理由					
	必要性	A	緊急医療体制があることは、市民が安心した生活を送ることができる。				
	有効性	B	医療は不可欠なものであり、市民サービスとしては有効な事業である。				
	効率性	B	医療機関は患者の診療に報酬が伴っているため、委託料や補助金額の見直しが必要と思われる。				
	総合評価	A	市民が安心して生活するために救急医療体制整備が必要であるが、委託料や補助金額を検討する余地があると思われる。				

Action

今後の方針	内容	
事業費 維持	今後、補助金額の妥当性の検討は必要と考えているが、市民が安心して生活していくためには、救急医療体制整備は必要であるので、継続維持とする。	

実施計画

年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業内容	休日夜間の医療の提供。 民間病院への救急医療体制に対する財政支援。	休日夜間の医療の提供。 民間病院への救急医療体制に対する財政支援。	休日夜間の医療の提供。 民間病院への救急医療体制に対する財政支援。
事業費(千円)	61,128		

平成30年度実施 事務事業評価・実施計画

No. 44

Plan

事業名	オーダリングシステムの運用				事業類型	内部管理	実施計画	○	区分	継続													
予算科目	特別会計	款	項	目	事業1	事業2																	
担当部署	部	市立湖西病院			課	管理課																	
総合計画体系	めざすまちの姿	2 ふれあいあふれる、はつらつとしたまち	基本計画		2-③地域医療の連携を強化する																		
事業の目的	診療から医事会計に係わる処理・業務の迅速化。																						
事業の概要	病院のオーダリングシステムの更新を行い、平成27年12月から運用している。																						

Do

事務事業評価

平成 29 年度	事業実績		事業費(千円)	当初予算額	決算額
	財 源 内 訳	国庫支出金		36,015	36,015
	債務負担行為によりオーダリングシステムを運用中(～平成32年度)。システムを稼動することにより医師等が検査や投薬、注射などの指示(オーダー)を電子的に関係部局に伝達することができ、業務や処理の迅速化が図られている。	県支出金	0	0	0
		市債	0	0	0
		その他	0	0	0
		一般財源	36,015	36,015	36,015

Check

成果指標	成果指標名(単位)			H28実績	H29目標	H29実績	H30目標
	判定	判定理由					
必要性							
有効性							
効率性							
総合評価							

Action

今後の方針	内容		
事業費 維持	病院の運営には必要不可欠なシステム・経費であり、継続が妥当。		

実施計画

年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業内容	システム継続運用	システム継続運用	システム継続運用
事業費(千円)	99,076		